

学習課題(小学校3年生)



【理科】

<学習内容>「太陽の光を調べよう」

◆「日光のはたらき」（教科書 94～98 ページ）について、取組シートやノートにまとめよう。

(1) 日なたの地面と日かげの地面のようすのちがいについて考えます。

①日光が当たっているところ「日なた」と、日光がさえぎられているところ「日かげ」の地面、もしくは床に手を当て、くらべてどんなちがいがあるか、書きましょう。

※あたたかさや見た目、しめりぐあいは、どのようになっているかな。

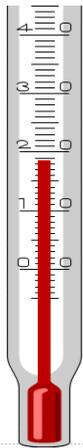
②教科書 97 ページの「かんさつ1」を参考にして、日なたと日かげの地面（床）の温度をはかったら、次のような結果が出ました。

※可能であれば、学校に相談して、温度計をかしてもらうなどして、実際にはかってみましょう。

日なたと日かげの地面の温度
午前 10 時

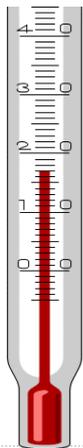
日なたと日かげの地面の温度
正午

日なた



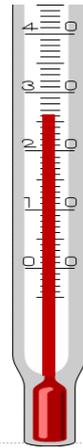
19°C

日かげ



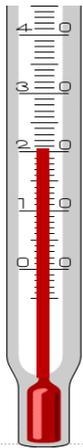
17°C

日なた



26°C

日かげ



21°C

この結果から、日なたと日かげでは、地面の温かさがどのようにちがうか、考えたことをノートに書きましょう。

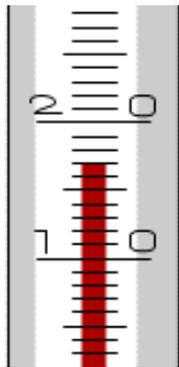
(2) 実験器具の使い方についてまとめます。

①教科書97ページの「地面の温度のはかり方」をみて、地面の温度のはかり方をノートにまとめましょう。また、日なたの温度計に「おおい」をする理由を考え、ノートにまとめましょう。さらに、教科書165ページを見て、温度計の使い方を下のようにならまとめましょう。

☆温度計の読み方

温度計と目を（ ）にして読む。

えきの先が、（ ）の目もりを読む。



左の温度計は（ ）と読み、
（ ）とかきます。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、「日なたと日かげでは日なたの温度が高いこと」、「日なたのほうが時間が経過したときの温度の上がり方が大きいこと」に気付くことを大切にしています。
- ・家の中でも日が当たっている場所はさわると温かいことが確認できます。なるべく体験を増やし、自分の感覚で判断できるように関わってあげてください。